

(添付ファイル 第8号様式)

平成28年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
道路事業	4	一般国道260号南島バイパス	南伊勢町	③	【全体事業概要】 延長 L=3,470m 幅員 W=6.0(11.0)m 主要構造物 トンネル 2本 【事業目的】 幅員狭小や線形不良の区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、緊急輸送道路としての機能強化を図ります。	H4	6,500	92%	【実施済事業内容】 供用済延長 L=1,100m 主要構造物 トンネル 1本 【残事業内容】 延長 L=2,370m 主要構造物 トンネル 1本	当該路線は、南伊勢町の行政機能を分担する南勢庁舎と南島庁舎を結ぶ唯一の幹線道路であり、緊急輸送道路の指定を受けています。このことから、当該事業の必要性に変化はありません。	【費用対分析効果】 B/C=1.2 【コスト削減】 トンネル照明は、最新の照明器具を導入し、維持コストの削減を図ります。 【代替案】 事業の進捗状況や周辺の地形・土地利用状況から、代替案はありません。	平成33年度の全線供用に向けて事業を推進します。
						}	5,610	91%				
						H33	890	96%				

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

平成28年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
目標年	用地費	進捗率										
道路事業	3	一般国道167号磯部バイパス	志摩市	④	<p>【全体事業概要】 延長 L=2,500m 幅員 W=6.5(8.0)m</p> <p>主要構造物 トンネル 1本 橋梁 1橋</p> <p>【事業目的】 現道部に想定される津波浸水区域の回避により緊急輸送道路機能を確保し、狭隘区間の回避により幹線道路機能の強化及び交通安全性の向上を図ります。また伊勢志摩地域の連絡強化により救急救援活動の円滑な実施に寄与するとともに、ポストサミット効果を生かす地域観光産業を支援します。</p>	H24	8,500	6%	<p>【実施済事業内容】 未整備 用地買収実施中</p> <p>【残事業内容】 延長 L=2,500m</p> <p>主要構造物 トンネル 1本 橋梁 1橋</p>	<p>国道167号の津波浸水想定や線形不良、伊勢磯部線の事故多発、雨量規制区間などの問題解決のため、当事業の必要性に変化はありません。平成25年9月に伊勢志摩連絡道路の一部として「第二伊勢道路」が開通しました。このことにより国道167号を介し伊勢二見鳥羽ラインを経由して伊勢自動車道と繋がる広域的な道路ネットワークが拡大され、残る区間にあたる磯部バイパスの重要度は高まっています。</p>	<p>【費用対分析効果】 B/C=1.3</p> <p>【コスト縮減】 トンネルLED照明や防草対策工などにより、維持管理費抑制に努めるとともに、別の道路で余剰となった道路設備の流用を検討するなど、コスト縮減に努めていきます。</p> <p>【代替案】 現道幅幅は多くの家屋が支障となることから、バイパス案が最適と考えており、また、平成29年度に用地買収が完了する予定であることから、代替案はありません。</p>	<p>平成33年度の供用に向けて事業を推進します。</p>
						H33	320	48%				

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

平成28年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
							目標年	用地費				
道路事業	5	一般国道368号上長瀬	名張市	②	【全体事業概要】 延長 L=2,000m 幅員 W=6.0(9.75)m 主要構造物 橋梁 3橋 【事業目的】 当事業区間のすれ違い困難箇所を解消するとともに道路の視距を改善することで、安全で円滑な交通を確保し、幹線道路としての機能向上を図るとともに、緊急輸送道路ネットワークを強化します。	H19	1,934	50%	【実施済事業内容】 供用済延長 L=760m 【残事業内容】 延長 L=1,240m 主要構造物 橋梁 3橋	国道368号は平成8年から第2次緊急輸送道路に指定されており、当事業の必要性に変化はありません。平成24年度には伊賀市において全国からの応援部隊・救援物資等の受入窓口としての役割を担う三重県広域防災拠点(伊賀拠点)が整備されたことから、国道368号は伊賀拠点から県内の各拠点への物資輸送等を担う道路として重要度は高まっています。	【費用対分析効果】 B/C=1.4 【コスト削減】 2号橋から3号橋の区間で、盛土材として他工事で発生した土を使用することで、工事費用として855万円のコスト削減を図っています。 【代替案】 全事業区間において用地はおおよそ確保済みとなっており、現在までの用地取得の状況と工事進捗状況から代替ルートはないと考えており、代替案はありません。	平成34年度の全線供用に向けて事業を推進します。
						S	1,714	45%				
						H33	220	88%				

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

